





五里利加ヨリ帰来  
七列人漂流記

天保十一年子年正月漂流  
七列人其在子年 帰国



八列の海浦被取



取取

傳藏

水至

重

日

廿九

石之川見身正

日

虎古

百中幅多

カシキ

百次

石之川今ある水止る年台兼十二年と兼三月五日  
海浦と為字取らるる法浦と云日六日夫上繩と云事  
として居取南海と云七日日以て了る約の凡海と云  
上繩捕らるる流しと云と云と云と云と云と云と云と云  
史下耳の乾の方(流され橋四換九)分(折)只凡

任せし流れは十日風毎増つて衣被を氷は甚程  
甚し十月の習子に成る夜九節と云ふ海は海少と  
んて取込一月の中にも甚多海は道なき道なきし  
名こじと自らしとく海は成は海は果しとてし  
了の流ありと幸して甚多道く取とあるは道なき岩  
岸風と云ふ海はとてし取と着る魚は新あり荒角  
とらの中よ少し平なる所と目高に取と自らし人合上陸  
是十月四時頃の事なり

一 名風は海は舟は打進るなりと御田ありと岩は舟  
きる舟は海は流進るなりと海苔の取と取と取と取と  
其の取は舟は取と

一 其の取は食の取と右海九節と云ふ果と云ひ取と取と

乾 又を去りしよのみにて食なり

一 水は少して甚程取す漂着る細水桶を取すより  
とらと取らるる岩より流るるを取ると取ると取ると  
旧和鐘き時を切ると取ると取ると取ると取ると  
うまきとも取らるる取らるる取らるる取らるる

一 磯は岩の元のと帯の取らるる取らるる  
海の取らるる道中と取らるる取らるる取らるる  
ある取らるる取らるる取らるる取らるる取らるる  
取らるる取らるる取らるる取らるる取らるる

一 四月中に成る取らるる取らるる取らるる取らるる  
海苔の取らるる取らるる取らるる取らるる取らるる  
取らるる取らるる取らるる取らるる取らるる

と云ふ事

一月二十四日二月朔に御時以て其年より重物病時  
よして心介病時云々と海苔のたを取て入る事  
者病す

一 百次帝御を新中飢は及まひて之に氣丈希よそ元氣  
と云ふ快健と云ふ事

一 一月二十四日以神合より大取来帆の成あり  
と云ふ夜と括り是と云ふ括り右大取来帆の成あり  
イシテ夏のことと云ふ舟と云ふ事  
百次帝と云ふ事と云ふ尚師は或人病、俗より  
は云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事  
一 大取来帆の成あり、イシテ夏のことと云ふ舟と云ふ事

イッへに」と云傳る八股積の成

一 洋中絲と云ふ事、八股と見目、時八股の成り母と云  
そりて云ふ事、伊豆の成り母と云ふ事、長刀の成り

一 母を八股と云ふ事、伊豆の成り母と云ふ事、長刀の成り

一 絲の油と云ふ事、伊豆の成り母と云ふ事、長刀の成り

一 其年此霜月、ウツク用よ希取も、  
雨のり八股と云ふ事、伊豆の成り母と云ふ事、長刀の成り

一 伊豆の成り母と云ふ事、長刀の成り

梅むすひを

用ひす

上戸の人は、或は強地と號す。口屯の卒口の如く、上下とも  
杖と稱す。は、宗檀王權の終りて、製す

分國大十、大概四國、注七、母育、甚覺、業す。世國の  
洋、此西洋國、より、取、合、洋、一、口、中、大、板、の、如、き、比、を、極、す、

此の絲、取、世國、より、入、洋、一、ア、ノ、リ、カ、國、の、中、取、取、の、注、名、す、

百、以、前、の、外、人、ハ、タ、ク、タ、ク、ヨ、ク、  
云、流、不、通、信、者、或、ま、判、し、寛、永、通、定、二、年、一、世國、の  
一、の、あ、る、と、は、取、す、四、人、在、平、法、を、た、れ、一、取、一、口、中、人  
を、曉、り、一、取、よ、く、

一人の者、「タクタクヨク」に、「を、流、世、セ、人、事、と、名、を、し、海、く、  
タクタクヨク」世、注、よ、く、一、取、取、口、中、人、を、初、む、と、云、

ハ、一、國、の、時、候、口、中、の、九、月、の、如、く、一、年、中、一、取、を、マ、タ、と、一、取、

一、多、り、の、事、ハ、ア、ノ、リ、カ、の、教、よ、く、月、の、七、回、一、口、中、の、

一、元、日、の、如、く、一、取、取、一、取、取、と、あ、す、一、口、中、一、取、取、一、取、取、

一、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、

一、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、

一、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、一、取、取、

一 家老の口やブキしし、五十年前、アメリカより  
世國を定む時、教く今、板又、石を、海、松園の  
家多し、世國松と海、石、海、石、大石、有松の、  
かりと、海、石、海、石、海、石、海、石、海、石、  
外部、海、石、海、石、海、石、海、石、海、石、  
時と、昔、石、海、石、海、石、海、石、海、石、  
ありし也

一 七島一王、布、王、死、時、松、石、海、石、海、石、  
ありし也、  
一 同、一、家、老、士、松、石、海、石、海、石、  
の、製、石、海、石、海、石、海、石、海、石、  
傳、松、石、海、石、海、石、海、石、海、石、

の、由、て、松、石、海、石、海、石、海、石、海、石、  
ありし也、  
一 右、松、石、海、石、海、石、海、石、海、石、  
則、松、石、海、石、海、石、海、石、海、石、  
松、石、海、石、海、石、海、石、海、石、  
松、石、海、石、海、石、海、石、海、石、  
ありし也、  
一 百、松、石、海、石、海、石、海、石、海、石、  
ありし也、



後二用史抄して除通ちこれ書おそい申し神ホハ  
自方ハ御出〜「アイツヘン」こゝを官おのて法この正成  
り道と申す其月ハ「アヒク」ト云除有旨あひする事  
二月初三日申す者もまた  
アメリ口國政大港口申國と同くす系は法金布  
た〜あ〜あ〜

一 王七人有北アメリ口國三十六國と分り時候口中  
内一四時有り汎海ハ「ア」國のこゝ王六國中の  
賢人と撰む出〜四年持てある賢人ハ八年も持下  
云健康ホハ一漢江に〜る迄うらあ脚  
アメリ口國近年 アラシク〜る世法とて家ある國を  
行事も業に於て年々ハ家来〜るより二年の号で

り道と通事事の下〜一津三月四日一月一日  
規式ありあ〜

一 健康車に系者〜る女慈氣服の〜火と〜  
車と〜る又慈氣服の〜る云空服を甚別禁は〜  
當時見あ〜

一 又女子ハ二十六せらる盛ハ角もて割ち〜口中と石月大  
教と積る〜る利く〜る

一 人物ハ篤實寛仁よ〜るを〜る人殺し盜賊あし  
都々あ〜る〜る適者ハ是を〜るに法有て立所ハ捕  
ら〜る〜る

一 燈籠の式ハ縁廻〜る日本ハの川籠をのめ〜る武海ハ  
別其女と連あ〜る心保〜る者たの事〜る燈籠ハ

神をてつり夫婦は人情を多産あれども別  
白しと云

一 麦の踏むる油花をいれ煮ると上赤くすじハ  
バレット云

一 上赤く人を酒を飲のひの柳うのをいふか  
のひ事り中人のや酔人の事馬場ふじを後

しと云酒のふをいふか

一 夫婦の情をう原あくあ門燈中も事金剛か  
西の南北

一 アメリカの福利成四社戦中百命録出ら  
文西も能く感之口録はるも有む早馬を修け

す渡馬をいふ取く日中のあきるる

一 室お陶をいふ一硝子湯の教り

一 医をすく不寝む薬國のい一医者あり居い口  
病と云事痛ひは火熱病之淋膿治痛水と合病人

と直月へいめ又七中二時を捏め泣して熱ときまひ

と云友に病のいける人あ

一 西洋程痘はカもアアリカ國に痘出まは痘と知り  
程痘に及まはと云

一 多敷大脚の事いふ虎象有る柳もま

一 大木多し口の中杯をてまらけく大枝く

一 切支丹の教は彼の國にても忘し

一 百益節多ツイツヘルは優ひ又ハ獨之にても懸あは

一 平から世世と廻る事あはく口中の沖に思あは

如く其方より列日と陸の志一に建た上陸す  
日本高江よ遠ニ夕捕せし一年有餘矣其言を  
取つ時を海國一を陸國にせと帝武時ハ氷海よ  
西より海よ舟の子を以て流と仕掛く氷と別通は  
又氷山海中に有は海中に鯨を乗流にせし  
取易し

一 天竺よりシヤカラ馬行國より上陸し大馬行の海  
東下の國めくを運滿より海をわくく其東を  
よ舟より其の運物に以て世國會物ハカレハの要  
と食マコハ口中のシロコ似く其果取是舟海に渡り  
又陸にも一種の裸國有世國遊女其有是もカレハの  
要と食人死をせし果くく食バレアへし烟子の如と

きして交易は

一 武時諸國と如くハフ國へ上陸し帝虎皇ホ二人は海  
國の約あり一舟ハアリカへ海に漂着の帝列  
よる六年より武時諸國と如くハフ國と  
て末に海舟の節あり

一 百次帝事不國の約とせし令と行ハされハ  
て海神洞を主として南アメリカ國の金山より  
産と海神の地漁あり令と自然に漁多し  
町あり其物より令と取捕り舟人其の中  
に取えしを舟に金山の金山ハフ國長途あり  
傳説あり舟ハ舟と違つアメリカ國高江に渡  
ると舟航して琉球國へ着舟も不國航に列る

時分に瑞る上虚をりし事年以均國ありき由又虚る  
も河幸均國うぶ有文向し

一 虚を為りし深く均國一若くは外に下りてし種族との  
ありき均國にありきと云

一 百理帝アメリコに在りし時フイスルに對の外紀を  
その同おも社由來に陸に注ぐ家お績のむ持るし

一 乙子族と縁地注さるる由り帝フイスル又書あり  
すし其女を不復し其後にも不降止事均國のむ切こ

一 一ハハフ國出帆之帝細々と又徳ノ刺を奪はるは  
ケうよと云しやれ情なき由也

一 今國より繁き道奥又陸球にそそむる事均國のむ  
長持よりむむむる長持と世畏をわら後世畏の國

七枚 四枚の長持と  
清石上 アメリコにそそむる今書物數十

一 卷の記アメリコにそそむるの書物通地記及星記  
活記之板記石記に長持とそそむる帝に注記

一 一と云く庸未を記し世畏國之役漏空の記アへし欄子  
りしユレバフ并外ありし海の大由古と通

一 一フアメリコにそそむる由ありし記を味とす  
流球と薩利し口化死を薩利とす月代おし

一 一日本のはやと成り  
長持より揚を入る成り揚をちやせり寛永の年より

一 一日本のはやと成り  
日本海ありし記のむし来りし時より今日本海  
と云んやいあり

一 一アメリコ國日本時教のむ有又及中にて聖教と

藩事其文を和解し

向きの少故より一と只一人にレタリ  
く目には泪を絞く

一 一國に口中人持ぬ太力有と云ふく前を切し  
一 一傳武官の國くこれ稱する也

一 一人と者へんせしる武官判寛永通宝は太板の者  
一 龍流やと持渡る也

一 其方も純列人一國へ流されし後浦人かあり  
一 あり一國へ一長は奉り長と成也

一 心系浦空へ渡る大船は全く軍船も何れ  
一 測量杯もる眼く子細は小の比測量は節又録  
一 眼の中深流の節薪水の恵と得人事を教ふ

由君は容易に有あが時人懐くも重なり  
一 中へ合ふは日中人討ふ港するやしく何れ  
一 一由一畔り中人一領主する有と云傳國は寛  
一 仁やるのと眼くは只く是や國より中り一此邦  
一 と伺ひある巧とありと云ふ

一 傳國とイキリス人あり指在り交易の比  
一 一アメリ口國主の居る年比面より大君は太板  
一 と指くする好まや

一 彼王府の上大威る流と設く好る里の中其流  
一 映りし雲とらん

一 一女王する人隠名せし隠名料と得る榮業  
一 一官人ありし健康の控感とありおある

一人の上下衣袴の色を分別ス

氏百姓のたき同方にく奉用す

紫の道衣を人臣人にけりしは、上糸の衣袴を江津、  
用也

アメリカ國々、箱中、箱々、國々、その御年々、精々、

アメリカ、船中に色々の衣具を入舟の向百を、

ヤシ、と知らぬ、

一、可以、節、携、来、道、具、よ、マ、ス、リ、の、類、又、移、を、乃、具、

の、類、多、く、一、是、ハ、船、中、洗、乃、具、と、云、い、の、也、

居、宅、と、硝、子、の、障、子、と、入、又、其、物、ハ、ラ、シ、マ、ラ、用、也、

ラ、シ、ヤ、と、織、り、に、車、と、は、成、あ、や、と、う、う、う、羊、の、毛、と、

此、等、と、云、り、ま、せ、る、車、は、成、あ、や、と、う、う、う、人、か、と、云、い、

一、百、以、新、ア、メ、リ、カ、に、く、ハ、チ、ヨ、シ、レ、シ、と、云、異、人、ト、云、レ、シ、タ、コ、

レ、レ、レ、を、呼、ハ、イ、シ、タ、レ、日、中、を、夜、し、つ、あ、う、

一、葉、光、中、と、云、ふ、と、ハ、メ、リ、ケ、ト、云、レ、シ、と、云、

一、名、レ、坊、平、島、船、を、環、と、云、

一、傳、載、其、事、ハ、ハ、ラ、フ、國、に、く、日、中、の、名、を、改、め、し、は、

傳、載、元、の、名、と、異、年、を、と、云、う、の、國、ノ、筆、を、と、云、事、ハ、

一、也、何、レ、ノ、一、も、傳、ま、い、成、に、傳、載、と、改、

一、ハ、ラ、フ、國、の、人、ア、メ、リ、カ、と、稱、し、し、メ、リ、ケ、レ、ヤ、ト、云、

一、供、乃、具、端、の、類、故、地、林、湯、よ、し、抄、子、ハ、タ、テ、ハ、キ、の、衣、

と、扱、さ、る、粘、の、物、と、用、也、

山口、永、永、六、年、癸、丑、秋、九、月

大  
土  
七

十  
〇





